学校番号	１０１０

平成 31 年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護総合演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	U-CAN の福祉住環境コーディネーター3 級　速習レッスン（ユーキャン自由国民社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護における知識と技術のスキルアップを目指す科目です。授業時間外での活動や補習等も行います。

障がい者・高齢者施設を訪問し、利用者の方が抱える課題について考察し、その人らしい生活について考え、計画を立案し、実践を行います。

また、地域で生活する障がい者や高齢者の視点に立ち、生活における諸問題について理解を深め、福祉住環境コーディネーター3級の資格取得を目標にします。

2　学習の到達目標

・2年次までに学んだ介護における知識と技術の定着と向上を図る。
・利用者の方との関わりの中で、その人らしい生活について考え、計画を立案し実践できる。
・在宅で生活をする障がい者・高齢者について理解を深め、生活における諸問題に対し、適切に判断し対応することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護福祉に対する関心をもち、各分野の現状と課題を意欲的に追究する態度を身に付けている。	介護福祉の概要について自ら思考を深め、現状と課題を多面的・多角的に考察し、表現する創造的な能力を身に付けている。	介護福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・研究等で考察した過程や結果をまとめ、図表化したり、発表や討論することができる。	介護福祉の概要について把握し、基礎的・基本的な知識を身に付け、現状と課題を具体的に理解している。
評価方法	小テスト 定期考査 課題プリント ワーク 観察等	小テスト 定期考査 課題プリント ワーク 観察等	小テスト 定期考査 課題プリント ワーク ノート 観察等	小テスト 定期考査 課題プリント ワーク ノート 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	介護技術の基本と実際	・介護の現状を知る ・高齢者施設見学 ・家庭の視点から ・社会の視点から ・自立支援と介護 ・介護技術の基本と実際 ・日常生活の理解 ・基本的介護技術 ・ボディメカニクス ・介護計画の作成・実施 ・車椅子実習 ・車椅子で水間観音へ出かける設定で計画を作る。 ・車椅子で乗車体験 ・地域における訪問介護サービスの実態と課題 ・要介護者の実態に応じ、自立支援を目指した介護	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:介護技術の知識と技術を確実に身に付ける意味や要介護者の状態に応じ、自立支援をめざした介護の展開を理解し、探究しようとしている。 b: 介護技術における訪問介護サービスの実態と課題を総合的な視点で考え、その過程や結果を適切に表現している。 c: 介護技術の技術や知識を理解するために資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 介護技術における車椅子の介助について知識を深め、要介護者のニーズに応じた適切な援助について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査 ボランティア
1・2	福祉住環境コーディネーター	・少子高齢社会の現状 ・地域・社会の取り組み ・日本の住環境の問題点 ・介護保険制度 ・障害者総合支援法 ・老化と自立生活 ・障害者の自立の手段 ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・共用品とは ・福祉用具とは ・移動福祉用具 ・起居・就寝用具 ・排泄、入浴、その他 ・住宅整備、基本技術 ・住まいの整備 ・ライフスタイルの多様化 ・高齢者の暮らし方 ・豊かな生活のために ・人にやさしいまちづくり	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:在宅生活における高齢者・障がい者の現状を理解し、さまざまな諸問題に対して探究しようとしている。 b:高齢者・障がい者が抱えるさまざまな諸問題に対して、思考を深め、適切な判断や対応を行うことが出来る。 c:さまざまな事例や資料などから情報を収集し、過程や結果を適切に表現することができる。 d:高齢者・障がい者が抱えるさまざまな諸問題に対して、適切な支援の方法について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

3	障がい者福祉	・障がい者理解 ・障がいの種類について ・障がい者の心理 ・特別支援教育の歴史 ・特別支援学校について調べ学習 ・特別支援学校との交流	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○	a:障がい者の定義を理解し、日常生活等に制限を受ける状態について基礎的な知識を理解し、適切な支援を探究しようとしている。 b: 障がい者福祉の歴史について調べた過程や結果を適切に表現している。 c: 障がい者福祉と支援学校について資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 障がい者の理解を深めながら今後の課題について考察し、理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。